



毎月十五日発行
宗像大像 社会

〒811-35 福岡県宗像郡玄海町
電話 (094) 62-13110 定価 一年送料共 1000円

玄海の新若布を献上

宗像漁民が真心を込めて奉製



宗像七浦の荒磯で採取された早春の新若布を皇室へ献上し上げる「若布献上」

この「若布献上の儀」は

昭和三十八年二月の宗像大社海洋神事奉賛会(郡内七浦漁協・大島・鐘崎・福間・津屋崎・地島・神湊)結成機に始まつた献上も回

本殿に於て献上奉告祭を齋

行、木箱に納められた若布

お祓いの後奉持者一同

を迎ね、本年で二十七回目

を迎えた。

本年の献上若布は、例年

選ばれた人々が誠心誠意を

にもまして穏やかな天候に

を迎ね、本年で二十七回目

を迎えた。

本年年度若布奉持者氏

名は左記の通りです。

(敬称略)

宗像大社宮司 養父 守

権禪・宜藤川 耕一

大島漁協組合長遠藤案山子

鐘崎漁協組合長宗岡 伊三

尚、本年度若布献上に際

しまして、御協力・御協賛

下さいました、郡内漁業連

係者各位 全日本空輸株式

会社、出光興産株式会社を

始め多数の皆様方に、紙面

を以ちまして、心より厚く

御礼申し上げます。

刻東京を後にした。

行は福岡空港へと向った。

祭典終了後、清められた若

布を直ちに白布に包み、一

行、木箱に納められた若布

を祭典の特別室に搬入された。

翌四日に、担当神職並に

巫女によつて、納められた

若布を更に厳選し、最良の

品を絞り、木箱に丁重に

に納め、斎館の特別室に搬入された。

尚、本年度若布献上に際

しまして、御協力・御協賛

下さいました、郡内漁業連

係者各位 全日本空輸株式

会社、出光興産株式会社を

始め多数の皆様方に、紙面

を以ちまして、心より厚く

御礼申し上げます。

その成立のためには、一定

地域内を中心に据え、総

軸に歴史的移動を経て、現

在する「宗像学」といっても、

大学の講座名ではない。西

洋文化サークルが、宗像

市・西日本新聞社、テレビ

西日本と共に催して、宗像市

の新若布献上の儀は遅滞な

月から開講するロングラン

特別講座の名称である。

斯くて、平成元年早春

の新若布献上の儀は遅滞な

月から開講するロングラン

特別講座の名称である。

「宗像学」といっても、

入り真心を込めて採取致し

申上げた。

漁民が集中、玄海の荒磯に

入り真心を込めて採取致し

申上げた。

漁民が集中、玄海の荒磯に

入り真心を込めて採取致し

申上げた。

漁民が集中、玄海の荒磯に

入り真心を込めて採取致し

申上げた。

漁民が集中、玄海の荒磯に

入り真心を込めて採取致し

申上げた。

船二年終し汽笛の哀し

(評) 上三句までの情趣豊

かに捉えて申し分もない。

汽笛

香 椿 桜井 ツバ

薄水踏めば早春の音

房ふさと髪を下し朝の路

吉留 高山 信子

ふ降りこめられて佗しかる

日々

福間 浩渡 一寿軒

船二十年終し汽笛の哀し

お祀り申し上げて

お祀り申し上げて

お祀り申し上げて

重に安置保管された。

例年であると、天皇・皇

后両陛下、賢所(宮中三殿

清々す青空の下、皇居に

午前十時宮内省に於

て侍従職を通じて若布を御

奉持し上げた。献上の際

申し上げているわけであ

るが、本年は大喪中という

こともあり、正式な献上は

賢所のみし、両陛下並に

申上げているわけであ

るが、本年は大喪中とい

うこともあり、正式な献上は

賢所のみし、両陛下並に

の守護があるという由縁を

以つて、例年皇室の御安奉

と聖寿の長久方歳を祈念し

て、献上申しあげている。

昭和三十八年二月の宗像大

社海洋神事奉賛会(郡内七

浦漁協・大島・鐘崎・福間・

津屋崎・地島・神湊)結成

機に始まつた献上も回

を迎えた。

三月九日前午九時十五分

年通り奉製申しあげた若布

を持参し、宮内庁へ御一任

を持參し、宮内庁へ御一任

を持參し、宮内庁へ御一任

明治憲法百周年を迎えて

天皇がアジアで初めて近代憲法を発布されてから満百年にあたり、日本史のみならずアジア近代史上に銘記されるべき日である。

それまでのアジア諸国は、歐米列強

の侵略にやまされ次々に植民地化さ

れた。諸邦の烈士が、悲壯な

抵抗を試みたが、独立防衛できなかつた。格段の軍事戦力の差もあつたが、

更に敗北の大きな理由は、どこのア

ジア諸国でも、国家の事は、統治者が

少数エリートの事とされ、かれらと人

民大衆の間の壁が固く、人民には國家

の精神團結の結果がきかなかったから

だ。日本も似た条件がいはずではなく

が、隣邦の大清帝国で慘

敗したところから、國民的公

議公論への風潮が高ま

り、国家の旧制を改革する試みが進み

る。明治二十年の「天皇を中心とする近代化」へと進み、「万機公論」に決す

るが、本年は大喪中とい

うこともあり、正式な献上は

賢所のみし、両陛下並に

申上げているわけであ

</

